

活動タイトル	石巻地域でのママと子どものためのコミュニティ食堂プロジェクト	団体名	NPO法人石巻復興支援ネットワーク	
<p>1年間の活動(アウトプット)の目標(事業全体)</p>	<p>1.子ども食堂の運営(年22回) 2.子育て相談会とワークショップの実施(年11回) 3.子ども食堂/コミュニティ食堂を行う団体間のネットワーク形成(会議、年3回) 4.ママ子ども食堂事業説明会(1回)</p>		<p>■活動風景</p>	
	<p>■活動報告</p> <p>●子ども食堂の運営 子育てに悩みを抱える親を主な対象に、地域住民、経済的に困難を抱える住民等、誰もが集える居場所として「やっぺす！ママ子ども食堂」を運営。食事の提供、参加者同士のコミュニティ形成を行った。</p> <p>●子育て相談会とワークショップの実施 子育て中の母親が悩みを相談、共有することで子育てに前向きになれるよう、幼稚園教諭、保育士資格を有する専門家による子育て相談会を開催。その中で親子で楽しめるワークショップも行った。</p> <p>●子ども食堂/コミュニティ食堂を行う団体間のネットワーク形成 石巻圏域の子ども食堂を運営する団体、協力・協賛する企業、行政等に参加をいただき、地域全体として子どもの貧困や、子育て支援に貢献するため「石巻圏域子ども食堂連絡会議」を立ち上げ、事務局運営を行い、継続的に連携できる体制を構築した。</p> <p>●ママ子ども食堂事業説明会 当団体が事務局として運営した「石巻圏域子ども食堂連絡会議」にて、各参加団体と協力・協賛企業、行政等と連携し、総意として「石巻圏域子ども食堂フォーラム」を初めて開催し、専門家の講演、各団体の事業説明、展示を行った。</p>	<p>■1年間の目標に対する達成状況</p> <p>●子ども食堂の運営 計20回実施。参加者にアンケートを実施した中で(回答数延べ83名)、家事・育児に前向きになったと回答した方が(10段階評価で高評価8~10)73名、88%の参加者が前向きになったと回答している。目標参加延べ66組に対し、延べ180組の参加をいただくことができ、大幅に目標を上回った。</p> <p>●子育て相談会とワークショップの実施 専門家による相談会、ワークショップを計11回実施。昼の部の子ども食堂と併せて開催し、アンケートも併せて実施。子育て相談会と昼の部の子ども食堂のアンケートでは(回答数延べ58名)、家事・育児に前向きになったと回答した方が(10段階評価で高評価8~10)51名、88%の参加者が前向きになったと回答している。目標参加延べ33組に対し、延べ86組の参加をいただき、目標を大幅に達成した。</p> <p>●子ども食堂/コミュニティ食堂を行う団体間のネットワーク形成 会議を計7回実施。石巻圏域の子ども食堂関係団体9団体、行政(復興庁、県、市)、企業2社の参加を得て開催。各参加団体と協力・協賛企業、行政との関係構築ができ、次年度も継続する会議となった。</p> <p>●ママ子ども食堂事業説明会 石巻圏域子ども食堂連絡会議の参加団体と、石巻圏域子ども食堂フォーラムを開催。各参加団体と協力・協賛企業、行政との関係構築、地域への周知を行うことができた。</p>	<p>やっぺす！ママ子ども食堂開催風景</p>	 <p>12月26日開催時。大人9名、子ども11名、計20名が参加</p>
<p>■1年間の活動のまとめ</p> <p>当初の計画通り、子ども食堂、子育て相談会とワークショップ、子ども食堂/コミュニティ食堂を行う団体間のネットワーク形成として「石巻圏域子ども食堂連絡会議」を開催・運営することができた。また、石巻圏域子ども食堂連絡会議から、「石巻圏域子ども食堂フォーラム」として事業説明会を実施し、計画以上の成果をあげることができた。活動を通じて、子ども食堂参加の母親が悩みを相談・共有し、家事・育児に前向きになれる、親子そろって温かい食事をお腹いっぱい食べられる居場所として認知されるようになった。</p> <p>石巻圏域子ども食堂連絡会議では、石巻圏域の関係団体・協力企業・行政の参加を得て、情報共有以外にも、資材や食材の共有等の連携体制を構築し、各団体の負担軽減に貢献することができた。</p> <p>本会議により開催した「石巻圏域子ども食堂フォーラム」では、子ども食堂の認知を広げることができた。本会議、フォーラムともに来年度も継続し開催予定である。</p>	<p>■事業を通じて得られたノウハウ</p> <p>○子ども食堂を開催し、アンケートをとることで、参加者のニーズをつかみ、食堂の運営を改善できた。</p> <p>○貧困家庭の相談を行政と連携して解決することが出来た。ボランティアの方との面談により、ボランティアの方の環境を整えることができた結果、ボランティアの方が増え、毎月参加をいただけるようになった。</p> <p>○石巻圏域子ども食堂連絡会議の開催により、関係団体とニーズの抽出、課題の共有を行うことができた。</p> <p>○石巻圏域子ども食堂フォーラムの開催により、開催のノウハウ構築ができた。また、アンケートにより、地域のニーズを把握することができた。</p>	<p>■実施した人材育成策</p> <p>○ボランティアの方が、ボランティアしやすい環境を整え、能力を発揮していただくため、面談を行いボランティアの方の時間帯や人員調整した。また、ボランティアの方に衛生管理について担当スタッフが指導し、徹底した。</p> <p>○「地域の子どもの食堂関係団体が持続的運営ができることを目指し、石巻圏域子ども食堂連絡会議で情報共有、ノウハウ共有を行い、各団体が運営方法をブラッシュアップする機会を生み出した。また、事務局団体が変わっても、開催できるように、子ども食堂フォーラムの開催マニュアルを作成予定。</p>	<p>■活動成果のアピールポイント(自由記入)</p> <p>この1年間の活動を通じて</p> <p>子ども食堂参加者(延べ416人)に温かい食事を提供し、孤独感の軽減、自己肯定感の醸成。子ども食堂関係団体との継続的なネットワークの構築</p> <p>を達成しました。</p> <p>■受益者の変化(効果測定結果等)</p> <p>●子ども食堂参加者 悩みを相談できる場所ができた。地域の同じ悩みをもつ親同士が集えるコミュニティができた。</p> <p>●フォーラム参加者 子ども食堂の地域の認知度が上がった。これから子ども食堂を運営したいと思う人が増えた。</p> <p>●連絡会議 各団体が独自にもっていた情報を共有しあえた。資材・食材の共有ができる体制を構築できた。各団体の自己負担が軽減された。</p>	